

前回協議会(H31.2開催)における指摘事項等

指摘事項	回 答
<p>小形風力発電ができたことによる大月町へのメリットはあるか。</p>	<p>大月町から聞き取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休地が活用され、土地を所有する地域住民の所得の向上につながっている ・固定資産税などの税法上のメリットがあり、設置数が増えるごとに税収が増えている。
<p>大月町で行われている小形風力発電の個々の採算がとれているか情報収集をし、経過を見ていた方がよい。その小形風力の地域へのメリットも評価できるとよい</p>	<p>現在大月町に設置されている18基の小形風車すべてに関係している事業者から聞き取り(うち数基はこの事業者が所有)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採算状況 自社で所有する風車はおおむね想定通りの採算はとれている。その他の風車も近い環境にあるため同様の状況と思われる。 ・地域へのメリット 土地の賃料 : 多くの事例で土地の賃貸が行われ、賃料が地域の土地所有者の収入になっている。 仕事 : メーカーを呼ぶ必要のないメンテナンスなどは地元事業者で実施。 ほか地域貢献: 賃貸を行うために、所有者不明の土地の所有者の調査整理を行い、喜ばれた。
<p>太陽光発電についての地域貢献についても把握していくとよい</p>	<p>資料1-4に整理</p>
<p>資料1の課題や実施した取組と、来年度予算案のつながりがわかるようにできるとよい</p>	<p>次回、第2回導入協で、お示しする。</p>
<p>高知県再生可能エネルギー普及協会(事業者の集まり)では、どんな議論がされて、どんな希望や要望が上がっているか、整理してもらえれば、次の方向性を考えるヒントになるので、お願いしたい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県再生可能エネルギー普及協会では、各部会(太陽光、バイオマス、小水力、蓄電池)から意見を吸い上げて行うセミナーを主な活動としている。 ・県などとも方向性を合わせて高知県版RE100のようなものがないかという考えがあり、まずは高知県版RE100に向けて何が必要か理解を深めるところから毎月会を開いて勉強している。7~9月はRE100に取り組む企業から講師を呼んで勉強会を行った。次回からは、持続可能なエネルギーやインフラに関する目標を持つなどRE100に関連の深いSDGsについて勉強する予定。